五地区でひざを交えて みんなでつくる村づくり

地区がかかえている問題を村と地区住民がひざを交え語り合う村政懇談会が五地区で開かれました。

危険な横断歩道に対策を

位置移動で安全確保・関係機関に協議

【横越地区＝23人】

◎旧役場庁舎の取り扱い

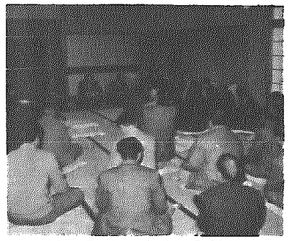
住民＝新庁舎が建設されて日も経ったが、旧庁舎の取り扱いは決まったか。

村＝保存せよ。処分せよ。との両論があるが、来年度には結論を出したい。

◎公共施設の受益者負担

住民＝地域にある施設の維持管理は、地域住民の負担で維持すべきでないか。

村＝村でも厳しい財政環境のなか、限られた経費で最大の効果を挙げるため行政改革大綱を策定して経費の節減に努めている。受益と負担の公平性の確保ということからも、公共施設の利用料についても早い機会に何らかの形で徴収する検討をしたい。



12月7日　横越村公民館

◎国道の横断歩道（旧役場庁舎前）の安全確保

住民＝旧役場庁舎前国道の横断歩道は危険な状態である。歩行者の安実確保の対策を

村＝危険というのはよく理解しているが、信号機設置については、国の段階で難しい状況になっているが、最大ついては近くにいくつもあり、それが渋滞の原因にもなることから、建設省にも話しはしているが難しい問題である。横断歩道の位置を旧バス停附近に移動する案については、地元のみなさんと充分打ち合わせの上、関係機関と協議したい。

このほか、排水改良、嘱託員の報酬改正、公園管理などが話題となりました。

農村総合整備モデル事業の推進を

新5号道路・農村公園に全力を挙げる

【小杉地区＝14人】

◎コミュニティセンターの拡張計画

住民＝多目的ホールを早急に拡張してもらいたい。

村＝他の地区でまだ施設の無い所があり、それらの整備を図る必要がある。その後に拡張を考えたい。

◎農村総合整備モデル事業

住民＝モデル事業の促進を

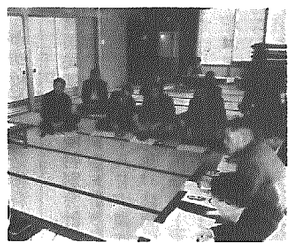
村＝来年度小杉地区においては、新5号道路（提防に添っての道路）と農村公園もあり、村のモデル事業の約半分以上の予算が小杉地区に集中されるものと思う。そのなかでも、農村公園に限努力し実現をはかりたい。

◎小杉分館跡地計画

住民＝分館の跡地はどうするのか。

村＝多目的ホールが拡張されるまで体育館は残し、それ以外は取壊したい。敷地については、体育館と駐車場を残して借入れ地は返したい。

このほか、除雪対策、排水路、道路舗装などが話題になりました。



11月28日　コミュニティセンター

12月5日　農協木津支所

【木津地区＝23人】

◎小阿賀野川堤防の整備管理

住民＝堤防の雑木の除去を

村＝県に強く要望しているが、今年度は予算化されなかった。来年度も引き続き強く要望していきたい。地元でもご協力を願いたい。

◎農村総合整備モデル事業の排水路整備の促進

住民＝木津下寺裏と蓮田の排

集会施設の設置を

六十二年度実施に向け県と協議

水路改良工事の促進を

村＝緊急性の高い路線から行っているが、来年度の要望には入っていない。その後になるのでご理解願いたい。

◎木津集会施設建設

住民＝集会施設建設計画はどうなっているのか。

村＝六十二年度農業構造改善事業で実施する予定で県と協議している。現在のところ三〇〇平方㍍規模位で了解を得ているが、まだ、今後転作の問題等もあり厳しい状況である。これからも実施に向け強く要望していきたい。

このほか、公園管理、工業団地計画、除雪対策、自転車道の設置などが話題になりました。

新民生委員（児童委員）決まる

去る十一月三十日をもって民生委員（児童委員）の一斉改選が行われ次の方が厚生大臣より民生委員の委嘱を受けました。

民生委員の職務は民生委員法により①常に調査を行い、生活状態をあきらかにしておく。②保護を要する者を適切に保護指導する。③社会福祉事業施設と密接に連絡しその機能を助ける。④福祉事務所その他関係行政機関の業務に協力する。⑤その他必要に応じて生活の指導を行うとなっています。

なお、相談者の秘密は、固く守られています。

（総務　神田勇氏）

（任期61年12月1日～64年11月30日）

集落名	民生委員名	担当地区
横越上	貴船　耕次	横越上
横越中	神田　勇	横越中
横越中	永井　貞次	横越中
横越下	佐藤　スイ	横越下
川根谷内	岩橋　光御	川根谷内
沢海上	仁多見栄作	沢海上・中
沢海中	角田　キミ	沢海中・下
焼山	陸庄侑	焼山
木津中	坪谷　フク	木津上・中
木津下	遠藤　昭午	木津中・下
二本木上	植木　博栄	二本木上・中
二本木中	仲村　ヒロ	二本木中・下
小杉中	山崎志枝子	小杉上・中
小杉下	中川　澄江	小杉中・下
串田山	要吉	藤山・駒込

12月17日　二本木公会堂

二本木の下水道整備はいつ頃に

六十四年度に一部供用開始を

【二本木地区＝27人】

◎小阿賀野川災害対策

住民＝小阿賀野川の障害物除去と寿橋の改良計画その後の経過と今後の見通しは

村＝今年度、堤防の一部雑木の伐採を県で行っているが来年度も要望していきたい。川の中州除去は、所管が新津土木で今年度の予算はないそうで来年度更に要望したい。寿橋改良計画については、新聞報道されたが、正式発表はなくハッキリしたものは来年度になるものと思う。

◎下水道工事計画

住民＝二本木地区における下水道工事計画は

村＝横越から二本木ポンプ場までの約半分を六十一年度中に実施し、六十二年度には二本木に到達予定。六十三年度に寿団地を中心に工事を進め、六十四年度には一部供用開始できるよう計画しているので、関係者のご協力を願いたい。

◎都市ガス工事計画

住民＝二本木地区で一部都市ガスが供給されているが今後の見通しは

村＝会社側から六十三年には二本木地区に都市ガスを布設する旨、村と約束している。

このほか、道路舗装、生活排水路の改修、除雪対策などが話題になりました。

交通渋滞や騒音など早急に対策を

道路・駐車場を整備し対処

【沢海地区＝20人】

◎博物館問題

住民＝村では観光対策委員会を設置し、対策を講じているがその内容は

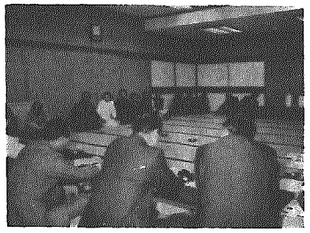
村＝観光客は将来一〇〇万人も訪れるものと見込まれ、抜本的な対策を講ずるため委員会を設置しその対策にあたっている。当面、沢海の混雑緩和に全力を挙げたい。そのために、阿賀用水路沿い道路の整備を県に要請し承諾をいただいた。県では、当面待避所を設け秋頃から大型バスを通したいと考えており、これに合わせ村でも、博物館裏に設置される駐車場に連絡するための村道51号線を整備し、集落内に大型バスを通さないようにしたい。

◎消雪パイプ計画

住民＝沢海内の消雪パイプ計画は

村＝県道関係については、博物館関連ということで、県からも六十一年・六十二年の二ケ年事業で予算化していただき、今年度は井戸の設置が行われた。村道関係は、博物館前から沢海下までを、六十二年・六十三年の二ケ年計画で実施する予定。

このほか、水田農業確立対策、通学路の除雪などが話題となりました。



12月7日　農村環境改善センター

水道管の凍結防止を

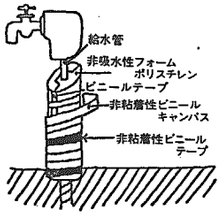
寒さの厳しい季節となりました。家庭における水道管の凍結防止対策は万全でしょうか。屋外、特に北側に面した風当たりの強い所にある水道管には、しっかりと防寒処理をしておかないと水道の水が凍ったり、水道管の破裂事故につながります。布、ビニールなどでしっかりと防寒の手当をしておきましょう。また、凍結防止には水抜き栓を取り付けることが、最良の方法です。

凍って水が出ないとき

蛇口の栓を開き、凍った部分にタオルか布を巻きつけ、その上からゆっくりとぬるま湯を水が出てくるまでかけてください。急に熱湯をかけると水道管が破裂したり、蛇口をいためたりしますので注意してください。

万一破裂したとき

速やかに止水栓をとめてください。その後で、村指定水道工事店へ連絡してください。止水栓はメーターの近くにあります。



村指定水道工事店

工事業者名	所在地	電話
(株)伊藤工業	京ケ瀬村大字窪川原二四三番地	(〇二五〇)六七一六
小木工業(株)	亀田町元町三丁目五番四三号	三八二一三一七一
風間建設工業(株)	亀田町砂崩三〇七番地	三八一一四九六二
神田設備工業	横越村大字横越三四五番地	三八五一三六九
(有)佐藤工業所	亀田町稲葉二丁目九番一号	三八一一三五〇七
新設工業所	亀田町環町一丁目一番四七号	三八一一四六三三
山田水道工事店	横越村大字二本木一二五七番地の四	三八一一四六一四

犯罪情報　事件事故

見たら聞いたらすぐ一一〇番

1月10日は一一〇番の日

◎一一〇番のかけ方

○何が
交通事故、けんかなど
○いつ
何時何分ころ、何分前ころなど
○どこで
現場の地名、道順、目標物など
○犯人は
人相、服装、車のナンバー、色など
○あなたは
氏名、住所、電話番号など

◎非常の場合は、一一〇番を活用してください。

一一〇番通報は、駐在所に届けるよりも全県下への手配が早くなり、事件・事故のスピード解決につながります。

昭和62年度保育園児募集

1月13日・14日集合受付

地区	日	時	場所
横越・小杉・藤山・駒込	1月13日（火）	午前8:30～12:00 午後1:00～5:00	横越村役場 1階 多目的ホール
沢海・木津・二本木	1月14日（水）		

納期のお知らせ

今月は、国民年金保険料第五期の納期です。一月三十一日まで忘れず納めましょう。